 <h1 data-bbox="315 222 699 338">みずみどり</h1>	<p data-bbox="782 202 1200 241">1998年5月15日 第6号</p> <p data-bbox="782 251 1200 285">発行：いたばし水と緑の会 事務局</p> <p data-bbox="754 299 1234 328">〒173-0004 板橋区板橋2-66-1 TEL 03-3579-2598</p> <p data-bbox="816 332 1234 363">板橋区環境保全課内 FAX 03-3579-2589</p>
--	---

4月19日、好天に恵まれた一日、午前中は荒川観察会、引き続き午後は総会が開かれました。会が生まれて初めての総会で、会長に鈴木信子さん（三園1丁目町会長）が選ばれました。

### ごあいさつ

会長 鈴木 信子

エルニーニョ現象の故か、今年の春は文字通り百花繚乱、劇的な訪れの感さえます。花の香りにおせるような一日、家族と乗蓮寺の石垣の下のトンボ池を見てきました。石垣の間からチョロチョロわき出る清水が絶えることのないようにと、心から願いながら赤塚公園に足をのびしました。少し盛りは過ぎましたが、ニリンソウの群落に感嘆の声を上げる人々の姿がありました。



私は戦中派です。何かを得るためには、何かを失わなければならないことはよく承知している心算ですが、戦後50余年の間に、物の豊かさや、便利な生活と引き換えに失ったもののあまりの多さに愕然とする昨今です。でも今この軌道修正をしなければとの想いがあります。

失われた自然の回復という大きな目標の前にたじろぐ気持ちもありますが、多くの若い方や、同志の皆様の情熱に支えられて、私なりに精一杯力をつくしたいと思っています。

どうぞよろしく願いいたします。

### 荒川観察会に参加して

金谷 ツヤ子

気にかけていた前夜までの雨もあがり、すばらしい陽気のなかでの観察会となりました。

集合場所の浮間舟渡駅前を出発してすぐ、浮間公園の池の端では、さっそく野鳥クラブの皆さんの観察が始まったようで、望遠鏡の列ができていました。

土手で植物観察は、その勢いのよいこと、種類の多いこと・・・夢中でメモを取り、次々と周辺の植物を探索し、気がつくと皆さんから遅れ、慌てて追いかけるしまつでした。

昼食は、戸田橋上流のスタンド付近で、参加者が一緒にゆっくりと語り、楽しみました。

足元の植物ばかりに気をとられた観察もそろそろ終わりに近く、笹目橋近くで土手に登り、涼しい風にあたりながら、今日の行程を遠く眺めていて改めて気付きました。ここは、人間により造成された河川敷で、そこに復元、再生しつつある「自然」だということに。

## 赤塚の森ボランティアのこれからの活動計画について

赤塚の森ボランティアは、ニリンソウとは別のプロジェクトとして活動することになりました。とはいうものの、一緒にできることは共同で実施します。

城址公園の林の将来像を考え、管理計画をたてるため、1年間は現状調査が中心となります。また、森を知るための散歩マップづくり等を行います。やり方として、中心になる人たちが班をつくり準備を進めます。興味のあるテーマには準備からお手伝い下さい。運営会議で決まったことは次のとおりです。

### ①植物・昆虫調査 5月、7月、11月

植物、昆虫の現状調査をします。調査については、まじめに、かなり本格的な調査を目指します。植物、生物調査に詳しい方、今は素人でも、その気になってやりたい方、下記にご連絡ください。

また、これから見かけた昆虫情報を収集していきます。一緒にやれる人は声をかけてください。

釣巻 ☎ (3961) 2875 FAX (3964) 4314

### ②山道（城址公園広場からの道）の整備

バイクの乗り入れなどにより、裸地化し広がった山道の幅を少し狭くする柵をつくりまします。詳細は活動のお知らせ（p8）参照。

③赤塚公園自然大好きマップづくり（p8参照）赤塚公園散歩マップをつくりまします。公園のいいところを知っている人、知りたい人、一緒にマップをつくりませんか。

### ④赤塚自然大好きクイズラリー（p8）

マップづくりで得た情報を使って、クイズラリーをしてみんなに楽しんでもらいます。

（11月頃実施）

例えばこんなクイズはどうでしょう。

○コースを歩いて宝物さがし

赤い実、なにかの種、虫の食べあと、鳥の羽根、落ちていたおもしろいもの等、

○両手でかかえきれない大きな木

○木の肌模様をクレヨンと紙でこすりだす

○落ち葉（堆肥置き場）にすむ虫さがし

○この落ち葉は何の木？ 木の実は何？

○乗蓮寺下の湧水にいる生きもの

○赤塚公園周辺の湧水をさがす

○広場で遊ぼう

メニューづくり、自然遊び、イラスト、PRなどの作業を手分けして準備します。

### ⑤水辺地の整備（つづき）と観察

乗蓮寺下に湧水の水辺をつくりました。今メダカとオタマジャクシが泳いでいます。どんな昆虫がくるか、観察しながら、植栽や水辺の手直しをしていきます。

#### クロスジギンヤンマが来たー！！

5月10日の観察会、最後に乗蓮寺下の出来立て池に立ち寄る。その時、まさに、でたー！！クロスジギンヤンマである。池を掘った時、水研の佐藤さんが「クロスジならきっと来ますよ」と言っていたが、こんな早く来ていいのー、である。この先、池がどう育つかホントに楽しみだ。

どんなトンボが来た、どの鳥が水を浴びにきた、ガマがどうのこの、こんなひとが池を見てどう反応したか、などみなさんの観察記録をどんどん会報に送ってください。



## ニリンソウと人々

(ニリンソウ自生地のパトロール活動)

1998-4/14

春風の便りに、演歌「二輪草」が生まれ、川中美幸がキャンペーンをしていると、耳にしていたのですが、満開の四月十一日に、ニリンソウの群落を見たカラオケのファンからテープで送られてきました、花の姿に満足して貰ったでしょうか？

『花を植えたのですか？』、『ニリンソウを売ってくれないのですか？』良い質問ですが、残念ながら立ち話では答えられず、不満を残した様です。

『シロダモとコグサギをなぜ切り倒した』と、お叱りを、シロダモは雪害のためコグサギは景観のため、しかし林の基本的な管理方法が未だ判らないので、叱られたまま。

『ニリンソウが増えましたね』『ニリンソウが減りましたね』。同意を求められても、答えられません。ただ何時までもこの群落が見られるか、どうか、保証の限りでは有りませんと答弁しても疑う目、納得する顔、さまざまでした。

公園のガードマンは『皆さんの活動で、利用者が行儀良くなりました』

清掃係の人『他の地区よりゴミが少ないですね』足立区の歩こう会の人々、杉並区からバイクで写真撮影に、聖跡桜ヶ丘、川崎市、蕨からサイクリングで、浦和からも、板橋区エコポリスから写生会、文京区からは「毎年楽しみにしてニリンソウを見にきます、板橋区の人羨ましいです」と、3月27日から17日間で大門地区の通過した人の数は、3382人、四月五日の桜の花見時は579人を記録しました。やはり桜の魅力には勝てそうもありません、雨で4日間は活動を中止しました、でも雨上がりの後パトロールに一人でこられた会員の方もおられました。

ニリンソウが咲き始めてから、満開に成るまで毎日の様に、花の移り変わりを見られた事は嬉しい事でした、毎日、毎日が緑から白に、そして白が全体を彩るまで、生き生きとした春の香りを、どきどきしながら見る事が出来ました、

会員の参加人員は平均して6名ぐらい、多い時は10人を越しました、皆さんは花見の人達との話し合い等が、だいぶ楽しい様でした、勿論不愉快な事もあり、驚かされた事もあり、ヘビの確認やヒキガエルをペットにしている、それを散歩させに訪れる夫妻にあったり、遠くモンゴルの美人を会員が案内して来り、ご無沙汰した人との出会いもあり、プロミナを持ってきて、ウラシマソウやヤマブキソウを皆で見たり、花見の人々に紹介したり、ただピラを配って、監視するのではなく、花と共に多くの人と、本当の花見が出来た事を満足をもって、ニリンソウにお礼を言いたいと思います。

やがて、4月26日の日曜日頃は、ヤマブキソウが満開になります。分布範囲がどのように成ったか、心配です。ハウチャクソウ、ナルコユリも多くなり、キツネノカミソリはぐんと株数を増やし、ウバユリの範囲も広がりました。ハナウドの開花ももうすぐです、番場地区のウワミズザクラ(イヌザクラ?)が花をほころばせ始めました。この号が皆様の御手元に届く頃は、残念ながら見られませんか、来年の監視活動に参加されるか、ニリンソウの花見にお出でになれば、ほぼその年の林の中の花の情報を知る事が出来ると思います。

終わりに一つ、竹林のタケノコがもう盗まれているとガードマンが教えてくれました。今年も竹林の管理に後手をふみました、残念ですが来年に期待したいものです。

(区の花ニリンソウを保存する会・会員香取記)

## 荒川河川敷でトラフズクを確認

以前から、河川敷のゴルフ場でトラフズクが越冬に来きていることは、北区の野鳥調査で確認されています。一度、新聞にも取り上げられたことがあります。が、私たち地元の自然保護団体では、まだ、直接確認したことはなく、いつか確認に行かなければと、思っていたところに、河川敷の環境についての話し合いの場「板橋荒川市民会議」にゴルフ場関係者も出席(2月に開催)していましたので、ちょうど良い機会とトラフズクが来ているか訪ねましたところ、確認しているとのこと、居場所を案内していただけるようお願いしましたら、了承されましたので、後日、電話をして曜日を調整することにしました。

2, 3度電話をしたら、社員旅行などで連絡が取れず、3月に入りやっと連絡が取れ、土日ははずし、11日水曜日に行くことになりました。平日でしたので、高野さんと下町みどりの野村さんと3人で行きました。まだ、季節的には寒いので、ゴルフ場も終わるのが早く、午後の2時半過ぎにはゴルフを終えて帰る人がおられました。が、私たちはゴルフ場関係者に案内されゴルフと反対に場内に入り目的の場所に進みました。しばらく歩いた後、川岸に近づくと水路に被さるように常緑樹が茂っています。この中にあるとのこと、いきなりでは、目が慣れず、どこにいるのか、直ぐには解りませんでした。さすがに、毎日見ている案内人は目ざとく見つけました。そうこうしているうちに、私たちにもトラフズクが見つかりだし、5羽は確認できました。

川岸の通路を場内整備用の作業車が通る時など、羽音もせずにトラフズクは飛び位置を変えていました。また、今回、枯れた草の茎に丸見えの状態で見られたりもしましたし、枝葉を通して見えたり、お二人には証拠となる写真を撮っていただきました。小一時間ほど、トラフズクを観察し周辺の様子も見ましたので、帰ることに、この間、カワセミ、カルガモ、オナガ、アオジ、シジュウカラなどが確認されました。いつの日か、このトラフズク達をみなさん方に、紹介する機会を持ちたいと、思っています。

(栗林菊夫)

撮影：野村圭佑



## 4/26 東京都緑の自然教室 実験池づくり

緑の推進委員板橋地区会  
いたばし荒川自然回復団

小雨が降っていたにも関わらず、約20人が集まってくれました。

雨よけ及び更衣室としてタープとテントを張ってから作業を開始しました。

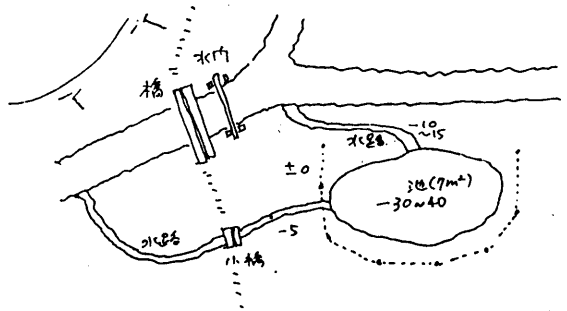
橋・水門・池づくりを並行して作業しました。

### ●実験のポイント

- ①水門により水ははいってくるか
- ②粘土で土壌改良した池の水の溜まり具合
- ③表土復元と移植による植生の復元
- ④水生生物の生息
- ⑤市民の人力でどの程度できるか

### ●当日の結果、気付いたこと

- ・しばらくたつと水門の上下で水位が変わり、効果があった
- ・池を掘るとじわじわと地下水がしみでてきたが、明らかに湧き出している箇所があった
- ・雨も降り、人数も少なめだったが、予定どおり10時から15時で作業は終了した  
みなさんお疲れさまでした  
今後どんな池になるか楽しみです



主催：自然ボランティア研究会

協賛：いたばし水と緑の会

## 4月12日、13日日の出の森の炭焼き体験

自然ボランティアの仲間を増やそうと企画した行事でしたが、広報期間が短かったこともあり、研究会のメンバーを中心に9人での行事となりました。

1日目：竹を適当な長さに切ってドラム缶窯へ入れる。竹炭を焼く間丸太で階段をつくる。夜は施設の人達との交流や囲炉裏談義で夜は更けた。

2日目：手入れの行き届かない竹と雑木の林で竹切りをした。

竹酢液や炭の効用、炭焼きの仕方、ドラム缶窯の造り方、そして竹の伐採について学ぶことができました。いつか赤塚でもドラム缶窯で炭焼きをし、雑木林の管理と楽しみの一つとしたいと思います。

※「日の出太陽の家」に御世話になった

いたばしのむし 今は!!

**オニヤンマ**

(オニヤンマ科)



黒地に黄色の縞が目立つ大型トンボ。分布は国後島から西表島まで。国外では台湾、中国北、中部（別種とする人もいる）。東京付近では6～7月頃羽化し9月頃までみられる。E

**オニヤンマがいた!**

松月院から溜池に行く道の途中、不動の滝の手前の竹やぶの中である。ちょうど私の目の高さにおニヤンマは静かに止まっていた。採集するかどうか一瞬迷った。細々とこの地で生き長らえてきた未裔、そっと手を伸ばすと、力強く暑い空へ飛び立った。96年8月4日のことであつた。

**記録がない!**

昭和61年と平成3年に板橋区昆虫等実態調査の報告書が刊行されている。しばらく板橋の昆虫から遠ざかっていた私には貴重な文献である。

この本のトンボの項目を開けてみる。昭和61年版、オオヤマトンボが浮間で記録されているの知る、オニヤンマは、…なにも書いていない。平成3年版、…豊富な湧水のある流れを主な生息域とし、板橋区内での生息は難しい。と書かれているのに気づいたのは秋になってから。

翌年に期待しよう。ところが、97年は仕事で身動きがとれない。今年こそ……。

**果たして土着種か!**

松月院の裏の墓地を抜け、畑を突っ切り、大きな竹林の中の坂道を下って、不動の滝のあたりに出たと記憶している。オナガアゲハがたま

に通りすぎ、オニヤンマはいつも低く飛んでいた、細い坂道だった。

30数年後のこの坂道、ほとんど同じ場所です。今、見つけたオニヤンマ、未裔と私が簡単に思い込んだのも無理はない。

**生態は!**

林内の小道を低く、行ったり来たりしている。ので、見つけやすいトンボである。縄張りに執着し、移動性に乏しい種と私は思い込んでいた。

ところが石田昇三氏の生態図鑑(1969年)によると、未熟な成虫は水域を遠ざかりしばしば小群で林の上を高く飛ぶという。未熟期に分散、成熟して縄張り、トンボによく有るパターンだ。産卵は雌が単独で、砂泥中にする。(砂泥の厚さ10cm以上の堆積、水深は5cm以下。(養父志乃夫1991による))

幼虫は小川や湧水、湿地、溜り水など小さな水域ならどこにでも育ち、日本で一番大きいトンボになる。水底の泥の中に潜み、親になるまで2～3年はかかるようだ。

小さな水溜まりには多数の幼虫は住めない。成虫になったら散らばって、卵を産む頃は縄張りを持ち小さい水たまりをしっかりと確保する。こんな戦略で日本中に分布を拡げたのだろう。

縄張りを持つのは雄だけである、当然縄張りの主目的は雌を待つことだろう。良い産卵場所を捜して雌がくる。強い雄がそこに縄張りを持つ。なら話は簡単、でも産卵場所と縄張りは本当に関連しているのだろうか?

**板橋区内に住み着くか!**

多分私が見たのは遠くから飛んできた、若いトンボだったのだろう。それから? …それから縄張りを作り雌を待つ、一体何年かかるだろう。でも本当にオニヤンマがいたんだ! 湧水の小さい流れがあり、林があればきっと住み着くに決まっている! (釣巻岳人)

## 活動のお知らせ

定例会は毎月第一木曜日(6月4日、7月2日)産文ホールB1「サンイチ」で(食事可)どなたでも。

荒川自然回復団

## ●秋が瀬公園見学会

日時：5月24日(日)午前9時5分

集合：東武東上線 志木駅改札口前

車の人は羽根倉橋近くの公園内駐車場

交通：池袋/8:45急行

大山/8:38→成増/8:54各停

持ち物：バーベキュー材料各自、飲み物、ビニール袋、スケッチブック、図鑑等

参加費：300円(薪代など)

荒川の河川敷本来の姿が見られるという秋が瀬公園に水辺の様子や植生、そこの生き物たちを見に行きましょう。種や実生を少しもらって笹目橋緑地へ移植しましょう。

(連絡先：かがみ5375-6404)

## ●第2回笹目橋緑地の実験池づくり

日時：5月31日(日)午前9時45分

集合：都営三田線 西高島平駅改札口前

持ち物：弁当、飲み物、

スコップ(あれば)、シャベルなど

服装：汚れてもいい服装、長靴で、着替え、履き替えも(テント用意します)

参加費：200円(保険代等)

(連絡先：かがみ5375-6404)

## ●板橋荒川河川敷野鳥調査観察会

日時：5月20日(水)午前9時30分

集合：都営三田線 西高島平駅改札口前

持ち物：お弁当、飲み物、双眼鏡、図鑑、帽子その他

参加費：200円

水面のツバメ、上空のイワツバメ、葦原のオオヨシキリ、草丈の低い所ではセッカ、渡り途中のシギ類の他、コチドリ、コアジサシ、サギ類、カルガモ、バンなどが見られるかと思えます。(連絡先：栗林3959-2072)

赤塚の森ボランティア

●運営連絡会(活動の内容、進め方についての打ち合わせ)(原則として偶数月の第4土曜日)

日時：6月27日(土)午後1時30分から

場所：赤塚5丁目集会所(乗蓮寺そば)

連絡先：坂本 3579-2598または3952-6688

## ●柵づくり班募集

地域にも呼びかけ、山が裸地化するのを防ぐための柵づくりを行います(12、1月頃)。柵づくり班は、材料の調達、柵づくりを覚えて当日の指導を担当します。柵の作り方は矢田さんが伝授します。

連絡先：矢田 3973-0998

## ●公園散歩マップづくりとクイズラリー班の募集

赤塚公園の自然派ファンのための散歩マップづくり、秋にクイズラリーを実施します。準備、アイデア、地図づくり、PRなどで、お手伝い下さる方ご連絡ください。また、1回目の準備会を開きます。

日時：5月23日(土)10時

場所：美術館前

連絡先：坂本 3579-2598

## ●赤塚公園クリーンアップ(環境月間協賛行事)

日時：6月7日(日)午前10時~12時

場所：美術館前

持ち物：軍手

連絡先：番匠 3579-2598、080-564-6083

## ●乗蓮寺下水辺地整備(つづき)と観察

日時：6月20日(土)10時

場所：乗蓮寺下(赤塚公園の石垣下)

その他：作業あり。汚れてもよいかっこうで。

連絡先：坂本 3579-2598

※4/4 AM11時頃赤塚 5丁目の湧水池のそばでメガネ(たぶん男性用「LYLE&SCOTT」)を拾いました。たぶん会の誰かのだと思ひ、預かっています。(かがみ5375-6404)